

# 小規模企業の景況

(2024年7～9月期)

大阪商工会議所による小規模企業の景況調査(四半期毎)2024年7～9月期の結果概要は以下の通り。今期(2024年7～9月期、調査基準日:9月1日)の業況判断DIは▲19.1(前回調査▲9.8)と回復傾向から一転、悪化した。売上額DI値は▲13.9(前回調査から10.3ポイント低下)、資金繰りDI値は▲14.6(前回調査から3.3ポイント低下)、従業員数過不足DI値は▲5.9(前回調査から7.6ポイント上昇)となった。「経営上の問題点」では、「仕入単価の上昇」が小売業で9期連続第1位、卸売業で2期連続第1位、「原材料価格の上昇」が製造業でも2期連続第1位となり、3業種で単価上昇が共通課題となった。

## 1. 今期(2024年7～9月期)の状況

**【売上額】**今期(2024年7～9月期)の売上額DI(全産業)は、前回調査(2024年4～6月期)の▲3.6から10.3ポイント低下し、▲13.9となった。業種別では前回調査から、製造業が14.6ポイント、卸売業が7.1ポイント、小売業が16.1ポイント、サービス業が2.7ポイントと全4業種で低下した。

**【資金繰り】**今期の資金繰りDI(全産業)は、前回調査(▲11.3)から3.3ポイント低下し、▲14.6となった。業種別では前回調査から、卸売業が0.9ポイント、サービス業が8.1ポイントそれぞれ上昇し、製造業が16.6ポイント、小売業が4.8ポイントそれぞれ低下した。

**【業況判断】**今期の業況判断DI(全産業)は、前回調査(▲9.8)から9.3ポイント低下し、▲19.1となった。業種別では前回調査から、製造業が9.9ポイント、卸売業が9.6ポイント、小売業が17.8ポイント、サービス業が1.1ポイントと全4業種で低下した。

**【従業員数過不足】**今期の従業員数過不足DI(全産業)は、前回調査(▲13.5)から7.6ポイント上昇し、▲5.9となった。業種別では前回調査から、製造業が12.4ポイント、卸売業は9.7ポイント、サービス業が12.3ポイント上昇し、小売業が6.5ポイント低下した。

## 2. 来期(2024年10～12月期)の予想

来期(2024年10～12月期)の全産業の予想DIは、売上額▲2.8、資金繰り▲13.2、業況判断は▲11.5となった。

## 3. 経営上の問題点

製造業で「原材料価格の上昇」、卸売業で「仕入単価の上昇」、小売業で「仕入単価の上昇」、サービス業で「利用者ニーズの変化への対応」が第1位となった。

**※DI値とは……**ディフュージョン・インデックス(Diffusion Index)の略で、本調査では前年同期(2023年7～9月期)と比較して売上額、業況判断、資金繰りなどが「増加」「好転」したなどとする企業割合から、「減少」「悪化」したなどとする企業割合を差し引いた値である。

本件担当：大阪商工会議所 中小企業振興部 経営相談室 06-6944-6451

## 【調査の概要】

- ・調査名:第177回中小企業景況調査(中小企業庁・中小企業基盤整備機構)
  - ・調査時期:2024年8月9日～9月3日(前回:2024年5月21日～6月1日)
  - ・調査方法:経営指導員による、調査票に基づく聴取り調査
  - ・調査対象:大阪市内の中小企業・小規模事業者
    - ※ 全国18,840件中(商工会議所調査対象7,931件)、大阪商工会議所分324件。
    - ※ 本紙では、大阪商工会議所分のうちとくに小規模事業者(従業員:製造業20人以下、商業・サービス業5人以下)269件について取りまとめた。
- [製造業76件、卸売業60件、小売業60件、サービス業73件]

## ■DI推移(全産業)

	174回調査	175回調査	176回調査 (前回)		177回調査 (今回)	
	2023年(R5) 10～12月期	2024年(R6) 1～3月期	2024年(R6) 4～6月期	2024年(R6) 7～9月期	2024年(R6) 7～9月期	2024年(R6) 10～12月期
売上額(増-減)	-5.2	-15.8	-3.6	-2.5	-13.9	-2.8
資金繰り(好-悪)	-13.5	-17.2	-11.3	-10.5	-14.6	-13.2
業況(好-悪)	-15.6	-22.1	-9.8	-6.2	-19.1	-11.5
従業員(過-不)	-12.8	-15.4	-13.5	-	-5.9	-

## ■経営上の問題点

順位	製造業	件数	卸売業	件数	小売業	件数	サービス業	件数
1位	原材料価格の上昇 →	19 (19)	仕入単価の上昇 →	22 (22)	仕入単価の上昇 →	12 (11)	利用者ニーズの変化への対応 →	13 (15)
2位	需要の停滞 →	16 (16)	需要の停滞 →	18 (13)	需要の停滞 ↓	9 (11)	人件費の増加 →	11 (10)
3位	製品(加工)単価の低下・上昇難 ↑	7 (5)	大企業の進出による競争の激化 ↑	4 (2)	販売単価の低下・上昇難 ↑	7 (5)	材料等仕入単価の上昇 →	9 (7)

[注] ( )内は前回(2024年4～6月期)調査結果

↑=前回より高順位

→=前回と同順位

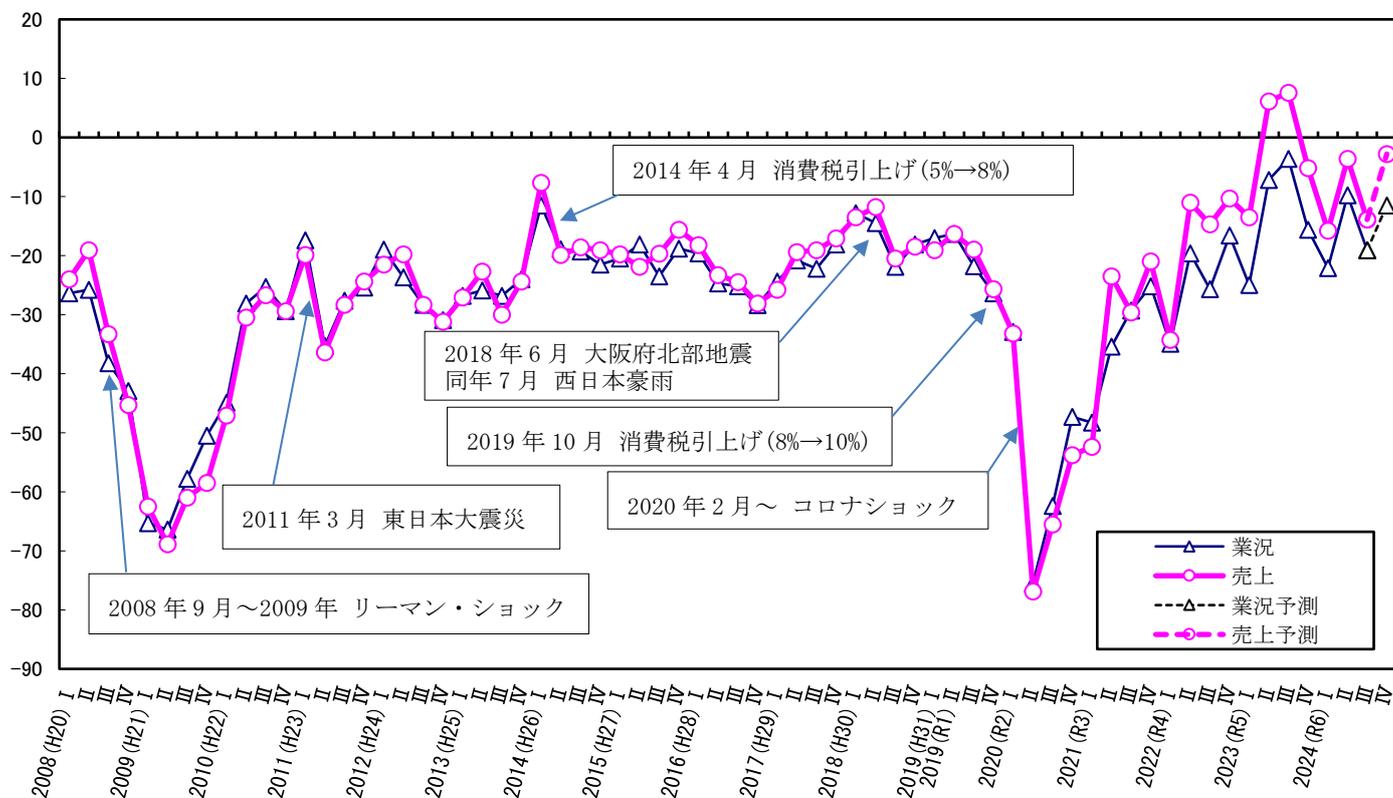
↓=前回より低順位

■ 状況比較表（業種別）

項目	業種	今期の状況(7~9月期)				前回(4~6月期)からの推移	来期の予想(10~12月期)			
		増加	不変	減少	増一減		増加	不変	減少	増一減
売上額		13.4	41.5	45.1	▲ 31.7	▲ 14.6	20.7	43.9	35.4	▲ 14.6
	製造業	21.2	42.4	34.8	▲ 13.6	▲ 7.1	22.7	48.5	24.2	▲ 1.5
	卸売業	25.8	38.7	33.9	▲ 8.1	▲ 16.1	30.6	30.6	37.1	▲ 6.5
	サービス業	32.1	35.9	32.1	0.0	▲ 2.7	30.8	47.4	19.2	11.5
	合計	22.9	39.6	36.8	▲ 13.9	▲ 10.3	26.0	43.1	28.8	▲ 2.8
	前回	30.2	36.0	33.8	▲ 3.6		26.9	42.5	29.5	▲ 2.5
	資金繰り		好転	不変	悪化	好一悪		好転	不変	悪化
製造業		3.7	69.5	26.8	▲ 23.2	▲ 16.6	6.1	70.7	23.2	▲ 17.1
卸売業		3.0	78.8	18.2	▲ 15.2	0.9	4.5	72.7	21.2	▲ 16.7
小売業		11.3	56.5	29.0	▲ 17.7	▲ 4.8	9.7	61.3	25.8	▲ 16.1
サービス業		15.4	65.4	17.9	▲ 2.6	8.1	11.5	69.2	15.4	▲ 3.8
合計		8.3	67.7	22.9	▲ 14.6	▲ 3.3	8.0	68.8	21.2	▲ 13.2
前回		9.5	69.5	20.7	▲ 11.3		9.5	69.1	20.0	▲ 10.5
業況		好転	不変	悪化	好一悪		好転	不変	悪化	好一悪
	製造業	12.2	51.2	36.6	▲ 24.4	▲ 9.9	17.1	50.0	31.7	▲ 14.6
	卸売業	10.6	50.0	37.9	▲ 27.3	▲ 9.6	12.1	56.1	27.3	▲ 15.2
	小売業	14.5	46.8	37.1	▲ 22.6	▲ 17.8	16.1	46.8	33.9	▲ 17.7
	サービス業	19.2	57.7	23.1	▲ 3.8	▲ 1.1	20.5	55.1	20.5	0.0
	合計	14.2	51.7	33.3	▲ 19.1	▲ 9.3	16.7	52.1	28.1	▲ 11.5
	前回	20.7	48.4	30.5	▲ 9.8		18.2	52.4	24.4	▲ 6.2
従業員		過剰	適正	不足	過一不					
	製造業	7.3	72.0	14.6	▲ 7.3	12.4				
	卸売業	6.1	83.3	6.1	0.0	9.7				
	小売業	1.6	72.6	11.3	▲ 9.7	▲ 6.5				
	サービス業	10.3	69.2	16.7	▲ 6.4	12.3				
	合計	6.6	74.0	12.5	▲ 5.9	7.6				
	前回	1.1	78.2	14.5	▲ 13.5					

「今期の状況（除従業員）」は2024年7~9月期状況であり、前年同期の2023年7~9月期との比較。来期の予想は2024年10~12月期予想であり、2023年10~12月期との比較である。「前回」欄は2024年4~6月期調査の数字。従業員は、過去との比較ではなく、業務量に照らした過不足。

■景況グラフ（売上額・業況）



※表示値=D I（増加・好転-減少・悪化）値

※ I 期=1-3月、II 期=4-6月、III 期=7-9月、IV 期=10-12月

※2024年IV予想値